

Mステーション

～ノッてきんさい♪みんながつどえるむいかいち駅～

吉賀町六日市公民館

1 吉賀町六日市公民館の概要

吉賀町は人口 6,340 人、世帯数 3,189 世帯
そして 5 つの公民館がある。

六日市公民館のある六日市地区は、人口
2,184 人、世帯数 1,187 世帯、高齢化率約 39
%と、吉賀町の 5 つの公民館区域の中でも、
一番人口が多く、スーパーやコンビニもあり
町の中心地と言える。

自治会数は 12、保育所が 1 つ、小学校が
1 つ、中学校が 1 つある。

2 事業の趣旨

これまで公民館では、様々な活動を計画・
実施してきた。年々地域活動の参加者が高齢
化し、中高生、保護者世代などの若者の参加
はあまりみられないのが現状。このままでは
次世代への担い手不足により「持続可能な社
会」が形成されないことが危惧される。その
ため、主体的に地域活動に参加・参画する大
人を育て、次世代への担い手育成につなげて
いきたい。

六日市地区は、町内他の地区にあるような
過疎化は見られないが、住民の多くが地区外
からの転入者であるため、住民同士のつなが
りの希薄さや、主体的に地域課題に向き合お
うとする当事者の意識がうすいなど課題があ
る。中でも、若者世代にこのような課題が顕
著にみられるが、仕事など時間に追われた生
活をしている現状もある。

そこで保護者世代を中心に、まずは「無理

なく」、「楽しみながら」住民のつながりをも
てるきっかけづくりをと考えた。そして若
者だけにこだわらず活動を行う事で、新たな
人の流れを作るとともに、新たな人材の確保
も行う。

3 具体的な取組内容

無理なくより参加しやすくする為に、子ど
もを主体とした活動を組むことで、保護者の
参加につなげようと考え、5 つの活動を計画
した。

(1) 高津川たんけんたい（7月）

小学生とその保護者を対象に、高津川で生
き物調査を実施した。昼食は地域の方が手作
りの「カレーライス」を「竹のそうめん流
し」を作ってくださった。

見守りボランティアに、これまで参加のな
かった地域の町づくり委員会への呼びかけを
行った。ごく少数ではあったが参加をして
くれ、頼れる若者の協力者を確保することが
できた。また、毎年見守りボランティアとして中
学校の 3 年生が参加をしてくれているが、今
年は全校生徒が参加をしてくれた。



(高津川たんけんたい生き物調査の様子)

(2) 町たんけん (7月)

小学生を対象に、町内の企業や歴史・文化材を、写真を撮ってもらいながら見学した。参加者は普段見ることない物や人を実際見て学び、参加していない人も写真を通して追体験ができるよう、公民館や町の文化祭で写真展を開催した。沢山の方に見てもらい、活動を知ってもらうきっかけにもなった。



(写真展を見る地域の方の様子)

(3) ラジオ体操 (7月・8月)

六日市地区で行っている健康づくりの会、六日市まめな会の中の活動一つ。

小学生の夏休みに各地で開催している。大人の参加が少ない地区もあり、自治会や体育協会などへの呼びかけを行った。

例年より保育所の子どもたちとその保護者の参加が増えた地区もあり、賑やかに朝のラジオ体操を実施した。

(4) 体験活動 (1月・3月)

新たな人材の確保の為に体験活動を計画し、フラワーアレンジメント教室を2回開催した。1回目は作品作り、そして2回目は作品作りと、今年度卒業していく中学生の為にこれまでの学習を活かす場として卒業式に付けるコサージュを作成した。

教室を開催する時には、カフェも同時に開催をして温かい飲み物で、参加に気軽感や楽しみ感をだして和ます工夫をした。

新たな参加者に加え、友達を誘いたいなど参加者の広がりもみえた。

(5) ふれあい健康まつり (2月)

六日市地区で行っている健康づくりの会、六日市まめな会の中の活動一つ。

講演会や保育所、中学校などが出演し、体の健康はもちろん、心の健康にもと誰もが楽しめるように開催をしている。

これまでの講演会では高齢者向けの内容が多かったが、幅広い世代へ聞きやすい内容にしたり、広報の他にも、保育所や中学校にもチラシ配布をして保護者の参加をよびかけた。



(地域の音楽愛好家と中学生によるバンドのミニ演奏会の様子)

4 評価と成果

5つの活動を通して、これまで関わりのあった人とはさらにつながりが深まり、新たな成果では、頼れる若者の確保、そしてまた新たな参加者や活動の広がりが見えたことは公民館にとって大きな収穫となった。

活動の中では、変化の見られない事もあったので、また新たな仕組みを考えながら活動していく必要がある。

5 今後の課題と見通し

これからも広がりを増やして、地域住民同士の結びつきを促進し、地域の若者が「無理なく」「楽しく」参画できる雰囲気醸成し、持続可能な地域を目指した活動を続けていきたい。

(文責：主事 向井 恵)